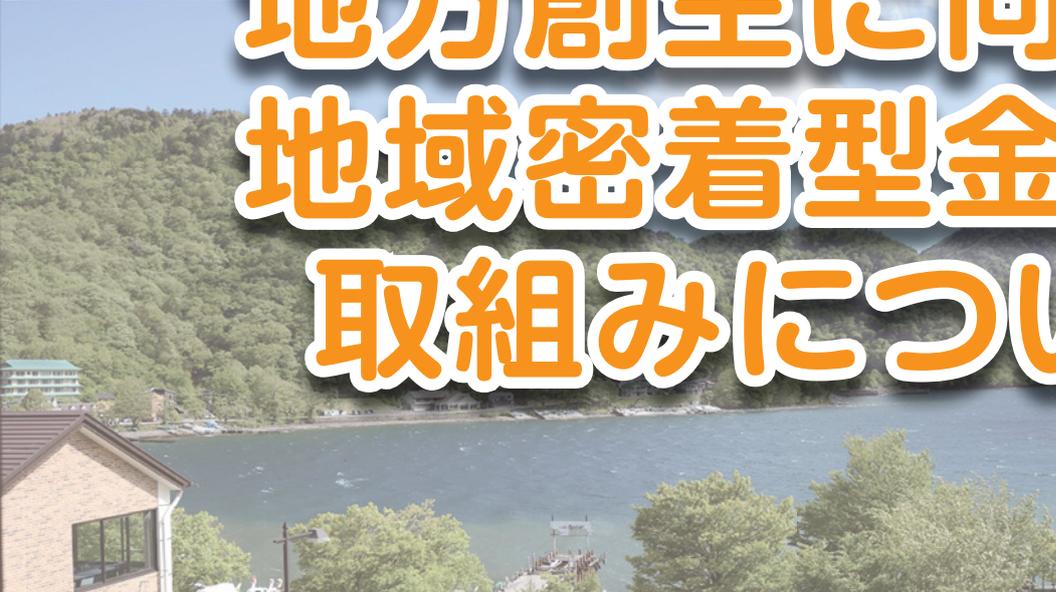


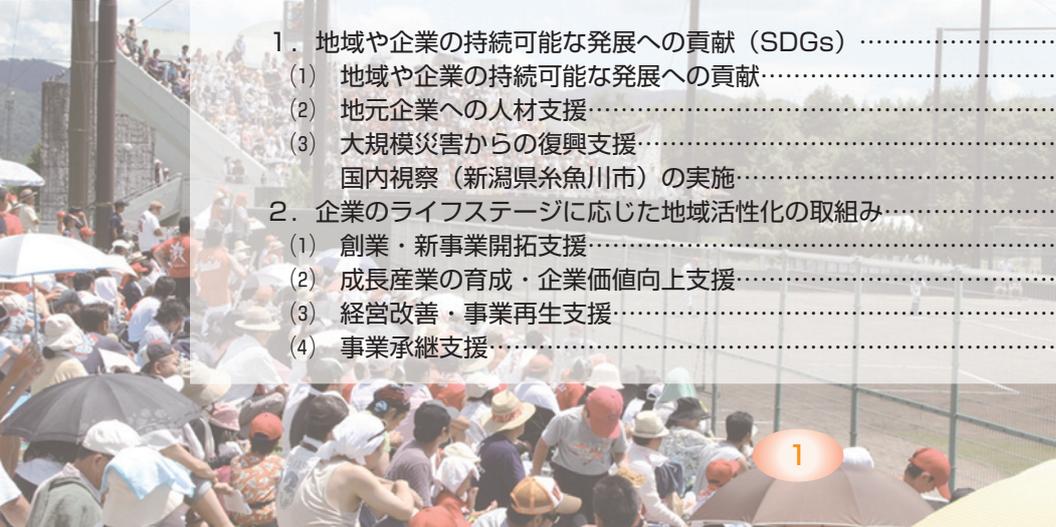


地方創生に向けた 地域密着型金融の 取組みについて



CONTENTS

1. 地域や企業の持続可能な発展への貢献 (SDGs)	2
(1) 地域や企業の持続可能な発展への貢献	2
(2) 地元企業への人材支援	6
(3) 大規模災害からの復興支援	7
国内視察(新潟県糸魚川市)の実施	8
2. 企業のライフステージに応じた地域活性化の取組み	9
(1) 創業・新事業開拓支援	9
(2) 成長産業の育成・企業価値向上支援	11
(3) 経営改善・事業再生支援	14
(4) 事業承継支援	15



1

地域や企業の持続可能な発展への貢献（SDGs）

会員行では、地方自治体と連携して、地域の特色や資源などを活用したまちづくりや、地域産業の課題、地元企業の経営課題・雇用確保などに対する提案を行うことにより、地域や企業の持続可能な発展への貢献に努めています。

また、熊本地震をはじめ、西日本豪雨災害などの大規模災害により被災したお客さまが復興できるよう、課題解決に向けた取組みを行っております。

(1) 地域や企業の持続可能な発展への貢献

京葉銀行

「観光によるまちづくり」を原動力とした地元経済活性化の取組み

京葉銀行は、千葉県香取市を中心とする歴史的資源を活用した観光活性化の取組みを、「千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド」の活用を通し支援しています。

今年3月には、古民家や蔵を含む建物を改装した宿泊施設「佐原商家町ホテル NIPPONIA」がオープンし、宿泊者も順調に増加しています。

また、観光まちづくり会社への行員派遣および銀行と業務提携した食のビジネス専門家による香取市地域産品のお土産品開発支援などの人的支援により、観光地としての香取市ブランドの向上に寄与しています。





詳細は事例集の 21 頁参照

北洋銀行

「北洋 SDGs 推進ファンド」を通じた北海道の持続可能な発展への貢献

北洋銀行は、SDGs（持続可能な開発目標）に取り組む道内中小企業の支援を通じた「北海道の持続可能な発展」への貢献のため、「北洋 SDGs 推進ファンド」を設立しています。

SDGs が掲げる各課題への取り組みを通じて、自社の成長・発展のストーリーを描ける企業を投資対象として支援しています。



北洋SDGs推進ファンド出資先および出資決定先企業紹介

メディカルフォトニクス株式会社様 出資額：15百万円

本社：札幌市北区北21条西12丁目 コラボ北海道
 代表者：代表取締役 飯永一也 設立日：2015年2月18日
 事業内容：採血不要の血中脂質計測器の開発製造

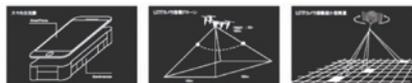


当社が開発する採血不要の血中脂質計測器

- ① 採血不要なため、連続計測が可能
- ② いつでも計測が可能のため、脂質疾患の見逃しリスクの低減可能
- ③ 採血不要なため、肉体的な負担は小さい

株式会社ポーラスター・スペース様 出資額：未定

本社：札幌市中央区北5条西6丁目2番地2 札幌センタービル14階
 代表者：代表取締役 中村 隆洋 設立日：2017年4月20日
 事業内容：超高精度スペクトル計測による農業課題解決型事業



- ・当社はスマートフォン・ドローン・小型衛星を通じて取得した超高精度スペクトルデータを解析し、農業等の課題解決に取り組む北大発認定ベンチャー。
- ・解析データをユーザーに提供することで、植物の生育状況や地上の熱環境、土壌の作物の性質など様々な情報をいち早く見つけることが可能となる。

詳細は事例集の 10 頁参照

愛媛銀行

愛媛県西条市におけるローカルファンド事業の推進

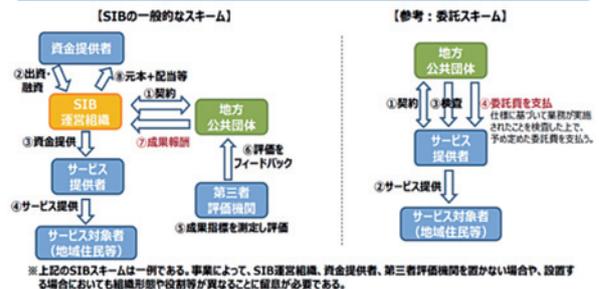
愛媛銀行は、地方から大都市に流出している資金等を地方に呼び戻し、地域内で循環する仕組みを創るため、ローカルファンドの構築を目指し、西条市、外部専門家と協定を締結しています。

ソーシャルインパクトボンド（SIB）と呼ばれる、民間資金を活用して社会課題解決型の事業を実施し、その成果に応じて地方公共団体が対価を支払うスキーム「ふるさと基金（仮称）」の設立を目指しています。



ソーシャルインパクトボンド（SIB）とは

・ SIBとは、民間資金を活用して社会課題解決型の事業を実施し、その成果に応じて地方公共団体が対価を支払うスキーム。



出典：経済産業省

詳細は事例集の 61 頁参照

徳島銀行

廃校を活用した複合施設開設への取組み

徳島銀行は、四国の中央に位置する徳島県三好市の豊かな自然環境にある廃校を活用したビジネスを支援しています。

地元から廃校となった小学校の活用依頼により、「贈り物専門店」、「ゲストハウス」、「保育所」などの複合施設開設を検討していた取引先に対し、事業計画策定支援や資金調達など、事業実現に向けての支援をしています。



詳細は事例集の 55 頁参照

栃木銀行

ファンドを活用した観光地空き物件の有効活用による 新事業支援と観光振興支援

栃木銀行は、大谷石の産地であり、近年採掘場跡地が観光地として注目を浴びる栃木県宇都宮市大谷地区の廃業施設を有効活用した観光振興を支援しています。

廃業施設をリノベーションし、「滞在時間を伸ばす」、「情報発信機能を担う」をテーマとしたベーカリーレストランの開業支援を、融資による資金調達をはじめ、「とちぎ地域活性化ファンド」の出資にて実施しています。



詳細は事例集の 20 頁参照

徳島銀行

地域資源を活用した新たな観光ランドマークタワー 「徳島新鮮なっとく市」開設への取り組み

徳島銀行は、徳島県中心部（徳島市内エリア）への新たなランドマークの誕生を支援することにより、地元の豊かな農水産資源を活用した観光誘客や経済循環を実現しています。

徳島県の観光食堂・物産館・観光案内所等の複合施設（徳島新鮮なっとく市）設置事業への応募について、弁当・給食製造販売企業の公募申請書類作成や官公庁関係機関との連絡等、ハンズオンの支援を実施しています。

「徳島新鮮なっとく市」の全体像

いつでも手ぶらで
まると楽しめる
アクティビティパーク

シーサイドバーベキュー
Sea Side Barbecue
AQUA TERRACE

新鮮な阿波の漁品を中心とした農産産物を、本格的な炭焼きが楽しめる全天候型のシーサイドバーベキュー。事前準備は一切不要で「手ぶら」で利用可能。

ファミリー釣り場
「釣ってみてフィッシング」

物産館「阿波遺産」

徳島県の特産品、隠れた漁品や生産者から直送の農林水産物などを、新鮮かつ安全・安心・リーズナブルに提供。

地元食材を味わえるレストラン
「阿波の幸 和食彩美」

徳島近海で水揚げされる魚介類を始め、阿波黒牛・金時豚・阿波尾鶏などの徳島ブランド肉、鹿肉などのジビエや新鮮野菜など、徳島県内の生産者から直接仕入れた食材を、新鮮かつリーズナブルに提供。

詳細は事例集の 50 頁参照

(2) 地元企業への人材支援

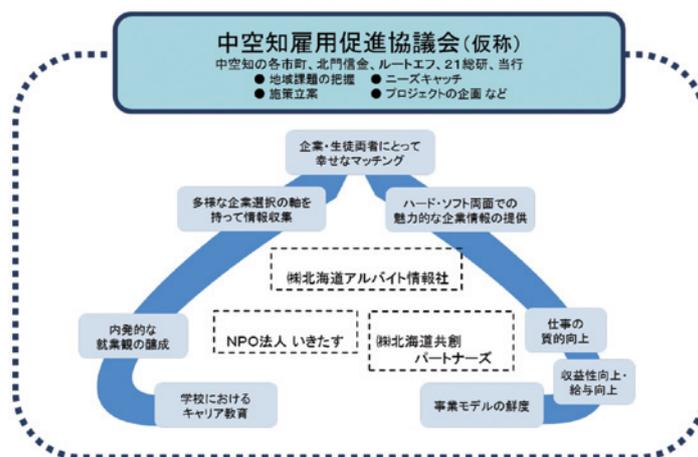
北洋銀行

中空知雇用プロジェクト

北洋銀行は、滝川市との地域産業分析の結果を踏まえ、同市を中心とした中空知地域（札幌～旭川間の5市5町）の雇用課題の解決を、地方自治体や人材専門機関などと連携して取り組んでいます。

今年度には、中空知雇用促進協議会（仮称）の設立、次年度には、企業への経営コンサルの導入・マッチングサイトの構築・教育プログラムの導入など、プロジェクト施策の実行を、産官学金が連携して目指しています。

『中空知雇用プロジェクト』スキーム図



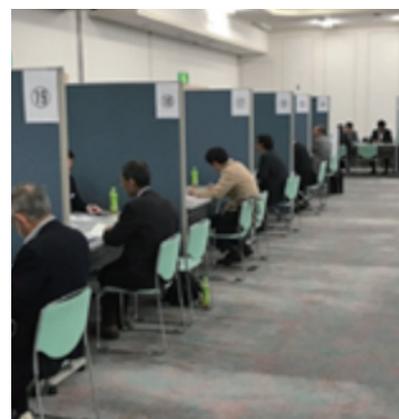
詳細は事例集の8頁参照

東和銀行

第4回 新現役交流会の開催

東和銀行は、関東経済産業局と連携し、人材に課題を抱える中小企業経営者と専門知識や豊富な経験を有する大手企業OBを引き合わせる「新現役交流会」を開催しています。

この交流会は、平成26年に地方銀行として初めて開催し、それ以降、群馬県と埼玉県で毎年交互に開催しており、お客様と親密な信頼関係の構築や、お客様の経営課題の解決を図っています。



詳細は事例集の18頁参照

名古屋銀行

地方創生「人財なんでも相談会」の開催

名古屋銀行は、中小企業の人材に関する課題は個別企業ごとに異なり、多岐に亘ることから、「人材確保支援」に取組む8団体が一堂に会する相談会を企画し、人材育成や助成金の活用方法、女性活躍に関する認証取得など、人材確保支援について指南し、課題解決に繋げています。



詳細は事例集の36頁参照

(3) 大規模災害からの復興支援

愛媛銀行

西日本豪雨災害における日本政策金融公庫との合同相談会等の開催

愛媛銀行は、本年7月に発生した西日本豪雨災害で、地元愛媛県のなかでも甚大な被害地区（南予地方）において、融資に関する事業者向けの相談会を日本政策金融公庫と連携し開催しています。

被災後、いち早くお客さま訪問を行い、被災された事業者について、応急資金二重、融資手続の簡便化・迅速化などをヒアリングし、より柔軟な対応に努めています。

詳細は事例集の65頁参照

熊本銀行

平成28年熊本地震からの震災復興に向けた取組み

熊本銀行は、平成28年熊本地震において被災された事業者の再生支援を目的とする「熊本地震再生支援ファンド」を、地域経済活性化支援機構（REVIC）とともに立ち上げています。

本ファンドの活用を通して、震災により被災された、事業者に対し、いわゆる二重ローン問題への対応を含む過剰債務の解消、必要資金の提供や人的支援を行うことで、対象事業者の再生支援を円滑に実現しています。

詳細は事例集の71頁参照

国内視察（新潟県糸魚川市）の実施

近年各地域では、地震、豪雨等自然災害の多発により甚大な被害が発生している。災害からの復興と活性化の取組みを实地見聞し、今後の会員行の地方創生等の取組みの参考とするため、2018年10月12日、13日の両日、京葉銀行大島取締役専務執行役員を団長として、大光銀行のご協力により団員15名で新潟県糸魚川市の視察を実施した。

「糸魚川市駅北大火」を経験した糸魚川市において、糸魚川市役所から復興計画の説明を受けた。

市役所では、糸魚川市の副市長等より、糸魚川市駅北大火の状況や災害に強いまちづくりについて次のような説明を受けた。



- ▶ 冬場としては珍しいフェーン現象で乾燥した南からの強風にあおられ、火元から約300メートル離れた日本海沿岸まで燃え広がり、火災としては初めて被災者生活再建支援法（風害による）が適用された。
- ▶ 被災規模に比し、住民の人的被害が甚大にならなかったのは、避難誘導が適切に行われたことに加え、消防ポンプ車100台に加え、協定を結んでいる生コンクリート会社の協力を得て、生コン車が水を運搬し、消火活動にあたった。
- ▶ 現状は、設備等のハード面から、賑わいづくりといったソフト面が大きな課題となっており、「まちやど」「リノベーションまちづくり」といった民間主導、人づくりを重視した復興まちづくりを構想している。



視察参加者からは次のような感想が寄せられ、「災害からの復興」を改めて実感させられた視察となった。

- ▶ 地域金融機関として「災害からの復興」にいかに関わるか、「街おこし」の一つの例を体感できた。
- ▶ 各地域においても、「人口減少」「高齢化」が共通の課題の中で、将来のまちづくりには従来以上の地域全体のステークホルダーが如何に問題認識を共有し、共通の目標を持てるかが、ポイントであり、それに銀行が単なる資金供給だけでなく、どのようなことで関わっていけるのかが重要だと再認識できた。
- ▶ 視察では、市主導のもと、地域の人々と力を合わせて、無電柱化や道路の美装化など、より良いまちづくりを計画・実行している過程を見学することが出来た。どのような状況に置かれても、それを糧（チャンスと捉え）に、さらに発展させる姿勢は、銀行経営に通じると感じた。



2

企業のライフステージに応じた地域活性化の取り組み

会員行では、創業、成長、事業再生、事業承継等のライフステージに合わせたお取引先の支援を通じて、地域の産業基盤や雇用の維持・拡大等、地域経済の活性化への貢献に努めております。

(1) 創業・新事業開拓支援

会員行では、融資や企業育成ファンドの組成・活用により、創業・新事業開拓を目指すお客さまの資金需要に対応しております。

また、創業セミナーの開催等を通じて、事業計画の作成支援や各種補助金の紹介等、有益な情報提供等を行うことにより、お客さまのサポートに努めております。

創業・新事業支援融資の実績（期中）

（単位：件、百万円）

	28年度	29年度
件数	5,891	8,354
金額	193,670	236,299

栃木銀行

創業・新事業者に対する支援事業

栃木銀行は、応募対象者を女性起業家とした「とちぎんビジネスプランコンテスト」を昨年に引き続き、開催しています。

今年は、コンテスト上位者が、経済産業省主催の全国規模のコンテストでファイナリストに選出されたため、各方面からの問い合わせが増え、販路拡大にもつながっています。

なお、現在は、「地域発！羽ばたく起業家」をテーマに第3回コンテストを開催中であり、男女を問わず、斬新なビジネスプランを持つ創業・新事業者の事業化に向けた支援を実施しています。

創業に興味がある方や
創業間もない方をサポート

とちぎん創業塾 第2期 塾生募集

とちぎん創業塾は、創業を目指す方や創業間もない方に対して、創業計画作りやセミナー開催、研修、助成、人材育成や補助金に関する相談等、自分自身でビジネスプランの作成を通じて、創業の成功をサポートする先進的なテーマです。

【入門編】 受講料 1,200円 12月17日～17日 17日～17日 17日～17日	【実践編】 受講料 5,400円 3月10日～4月21日 3月10日～4月21日 3月10日～4月21日
---	--

※ 研修期間が5年以上の方のみ

栃木銀行 創業SF
 創業支援のための融資サービスです。
 創業初期の中心となる創業支援を強化し、創業支援はゼロからスタートまで行います。

※ 創業支援は、創業支援のための融資サービスです。
 創業初期の中心となる創業支援を強化し、創業支援はゼロからスタートまで行います。

第3回 とちぎんビジネスプランコンテスト

「地域発！羽ばたく起業家」

エントリー受付中

とちぎんグループが、あなたの夢の実現をサポートします

エントリー受付中

2018年6月8日

最終審査（オンライン）

2018年10月23日

【ビジネスプラン部門】
 最優秀賞（羽ばたく起業家賞）300万円
 準最優秀賞 100万円
 最優秀賞（女性起業家賞）200万円
 準最優秀賞（女性起業家賞）100万円

【ビジネスアイデア部門】
 最優秀賞 100万円
 準最優秀賞 50万円

※ 応募資格、応募方法、審査方法、賞金等については、応募要項をご覧ください。

詳細は事例集の85頁参照

京葉銀行

創業支援・新事業開拓支援

京葉銀行は、創業1年目のソフトウェア会社が開発した介護施設向けIoTシステムの事業化支援をしています。センサー技術を活用した介護施設でのシステム導入の社会的ニーズや意義は大きく、同行医療チームによる商品開発から販路開拓、経営指導、資金調達まで一貫したハンズオン支援を行っています。

詳細は事例集の86頁参照

長崎銀行

「創業支援セミナー」の開催

長崎銀行は、地域における起業家に対する育成・支援は、地域金融機関としての重要な役割であるとの認識から、創業後間もない取引先を対象に、創業後の経営を軌道に乗せることを目的として、日本政策金融公庫などと合同で「創業支援セミナー」を開催しています。

創業向け
超実践型 マーケティングセミナー
参加無料

SNSを活用した ブランディングと 集客を考えよう

講師 (株)アドコンセプト 坂田裕美
【プロフィール】
社団法人イベント産業振興協会 理事・九州地域本部
社団法人大学発産業創生機構 中の企業支援アドバイザー

プロのPR集団アドコンセプトは、既存の広告・PRという領域にとらわれないことと、様々な企業に一番有効なコンセプトを定め、価値あるPRを実現し企業ブランドイメージを広めている。

日時 平成30年7月27日(金) 18:00~20:30	定員 30名
会場 長崎銀行本店 別館会議室 〒850-0875 長崎市栄町1-15 2F	主催 長崎銀行 日本政策金融公庫 西日本シティ銀行 NCBリサーチ&コンサルティング
	後援 西日本フィナンシャルホールディングス 中小機構九州

参加お申込み、お問い合わせは裏面をご覧ください。

長崎銀行 JFC 日本政策金融公庫 西日本シティ銀行 NCBリサーチ&コンサルティング

04007

詳細は事例集の100頁参照

(2) 成長産業の育成・企業価値向上支援

会員行では、観光、農業等の地域の成長産業を育成・支援しております。

また、事業性評価等により、お客さまのニーズや成長可能性等を把握し、各種ソリューションサービス等の提供を通じて、お客さまの企業価値向上を支援しております。

- お客さまのビジネスチャンスの創出・拡大に向けた機会を提供するため、ネットワークを活用し、地方公共団体や他の金融機関と連携した共同商談会を開催するなど、ビジネスマッチングに積極的に取り組んでおります。

ビジネスマッチング成約件数の実績（期中）

（単位：件）

	28年度	29年度
件数	9,453	13,774

- お客さまの技術力やノウハウ等の事業特性に応じた融資を行うとともに、売掛債権や在庫等を担保とする動産・債権譲渡担保（ABL）を推進し、お客さまの資金需要にお応えしております。

動産・債権譲渡担保融資の実績（期末）

（単位：件、百万円）

	28年度	29年度
融資先数	3,299	3,913
融資残高	367,816	424,499

（注）融資先数は、融資残高もしくは融資枠がある先。

- お客さまの海外進出による新たな事業展開のニーズにお応えするため、海外販路拡大のための商談会の開催、海外事業展開における資金ニーズへの対応を行っております。

また、日本貿易振興機構（JETRO）^{（注1）}・国際協力銀行（JBIC）^{（注2）}・外国の地場金融機関等と連携した情報提供・相談も行っております。

（注1）会員行は、日本貿易振興機構と連携して、同機構の国内および海外拠点に行員を派遣し、お客さまへの情報提供・相談等の支援を行っております。

（注2）国際協力銀行は、タイ、インドネシア、インド、フィリピン、ベトナムの地場金融機関との間で、本邦金融機関を通じた中小企業等の海外進出支援体制の整備のための覚書を締結しております。会員行は、本覚書に参加し、海外進出支援体制の強化を図っております。

海外進出等に関する相談受付件数の実績（期中）

（単位：件）

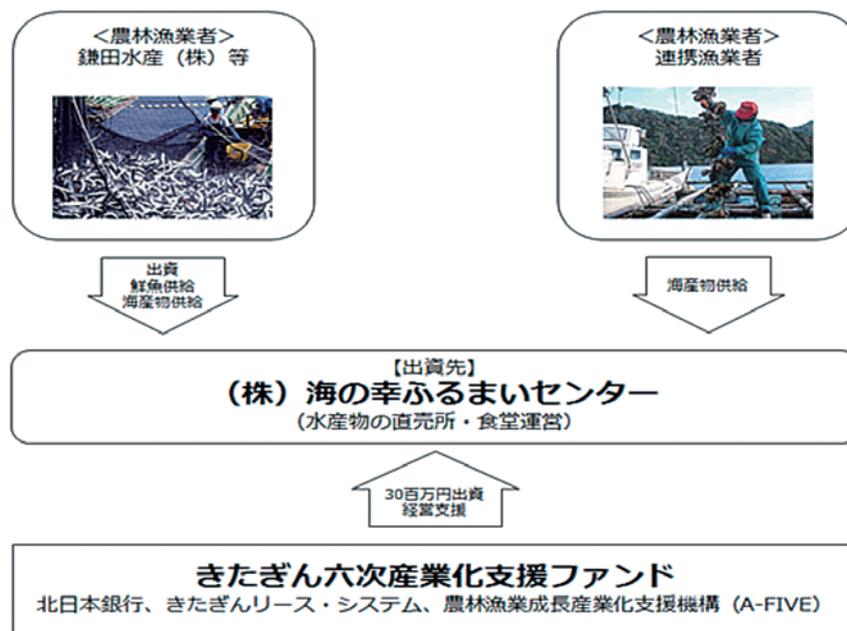
	28年度	29年度
件数	1,912	1,833

北日本銀行

海の幸直売所プロジェクト

北日本銀行は、農林漁業成長産業化支援機構と（A-FIVE）とともに立ち上げている「きたぎん六次産業化支援ファンド」の活用を通して、海の幸直売所のプロジェクトを支援しています。

岩手県大船渡市で水揚げされる豊富で高品質な魚介類などの食材を一次事業者から直接仕入れ、消費者へダイレクトに提供する海の幸直売所の設立にあたり、事業計画の策定支援から、A-FIVE と連携した全国的なプロモーション、販路拡大支援まで、ハンズオン支援により、新事業立ち上げに貢献しています。



詳細は事例集の 107 頁参照

福邦銀行

第一勧業信用組合（東京都）との包括連携協力締結

福邦銀行は、ビジネスマッチングを広域化させることにより、取引先の売上支援に努めています。

第一勧業信用組合（東京）との包括連携協力を締結により、国内最大のマーケットである首都圏への販路開拓・拡大ニーズを持つ取引先に対して、同組合の取引先を紹介し、ニーズ喚起を図ることで、販路拡大支援、地域活性化へつなげています。

詳細は事例集の 119 頁参照

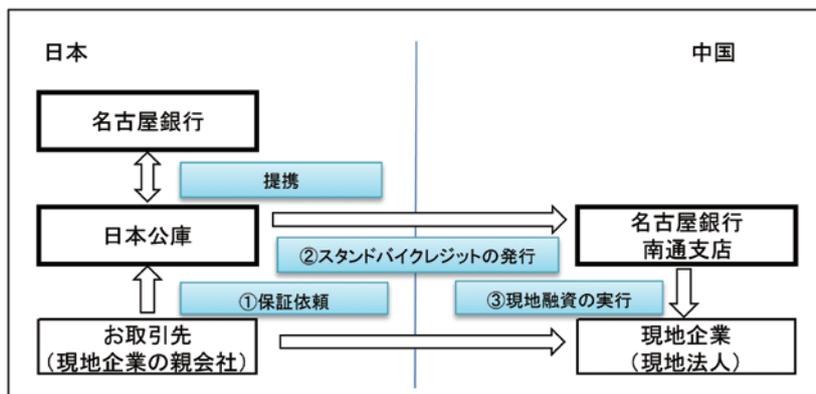
名古屋銀行

日本政策金融公庫との国際業務提携の契約締結

名古屋銀行は、中国南通支店での人民元業務の取扱いを契機に、日本政策金融公庫と更なる国際業務サービスを提供するため、「国際業務提携」の契約を締結しています。

日本政策金融公庫の「スタンドバイ・クレジット制度」(スキーム図)の提携金融機関として、同制度を通じた融資について日本政策金融公庫が本邦金融機関と連携するのは第二地方銀行としては初となります。

業務提携により、全国の日本政策金融公庫の取引先の中国現地法人を融資対象としてきめ細かい資金調達支援を実施し、南通支店の融資取引拡大にも寄与しています。



詳細は事例集の124頁参照

徳島銀行

農産品の海外販路開拓支援への取組み

徳島銀行は、輸出による農産品の販路開拓支援に注力しており、農業法人に対し、海外のスーパーマーケットや輸出商社を紹介するなど、取引先の商機拡大を図っています。

生産量全国一位を誇る「菌床しいたけ」を生産する取引先に対し、マレーシアの輸出卸売業を営むバイヤー企業との商談機会の設定や、海外用商品パッケージデザインの作製アドバイスなど、取引先の海外販路開拓を総合的にサポートしています。



輸出用に作製したパッケージ



マレーシア現地で販売されている様子

詳細は事例集の143頁参照

(3) 経営改善・事業再生支援

会員行では、経営改善や事業再生を必要とするお客さまに対し、経営改善計画の策定支援、計画の進捗に係る相談を実施し、継続的な支援を行っております。

また、企業再生ファンドの組成・活用、地域経済活性化支援機構・中小企業再生支援協議会等の外部機関との連携強化等により、お客さまと一体となって、企業収益の改善等に取り組んでおります。

企業再生ファンドへの出資実績（期末）

（単位：百万円）

	28年度	29年度
金額	6,246	7,015

もみじ銀行

よろず支援拠点出張相談会

もみじ銀行は、経営改善・事業再生支援を必要とするお客様に対し、広島県や、ひろしま産業振興機構と協力のうえ、営業店において「よろず支援拠点出張相談会」を定期的を開催しています。

相談案件から、ものづくり補助金の申請手続きや、設備投資・増加運転資金案件に繋げることができ、外部専門家を活用した本業支援を実施しています。

詳細は事例集の184頁参照

(4) 事業承継支援

会員行では、経営者の高齢化や相続等により事業承継を希望するお客さまに対し、セミナーや個別相談会を開催しているほか、次世代を担う後継者の育成支援にも取り組んでおります。

また、事業承継等に係る課題解決に向け、M&A を活用した企業・事業部門の譲渡に向けた手続きの具体化等、最適なご提案ができるよう努めております。

事業承継等の相談受付件数の実績（期中）

（単位：件）

	28年度	29年度
件数	6,460	6,555

北日本銀行

M&A・事業承継支援の取組み

北日本銀行は、地場中小企業の事業承継対策に力を入れるため、承継や企業買収（M&A）にかかる事業承継会計や税務、法務などの高度な専門知識を習得できる M&A シニアエキスパート資格取得への取組みを強化しています。

特に、沿岸地域の取引先では震災後の人口流出で経営環境が激変しているため、蓄積されたノウハウや技術を含め、次世代につなぐ下支えをするべく、資格保有者における M&A や事業承継ニーズの把握に努めています。



詳細は事例集の 168 頁参照

栃木銀行

M&A を活用した事業承継支援

栃木銀行は、運送業者の事業承継を M&A を活用して実施しています。

比較的小規模な案件については M&A 専門会社等の支援が難しい場合も多く、地域金融機関として、M&A の仕組みや手続き、今後の流れや検討のポイントなどを顧客と共有し、積極的に支援しています。

詳細は事例集の 173 頁参照

平成 30 年 3 月末現在の会員行（41 行）の概況

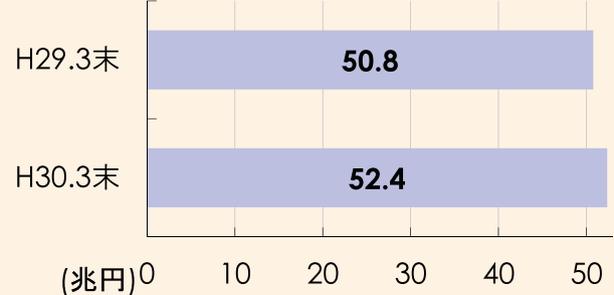
【預金：66兆8,308億円】

【貸出金：52兆3,843億円】

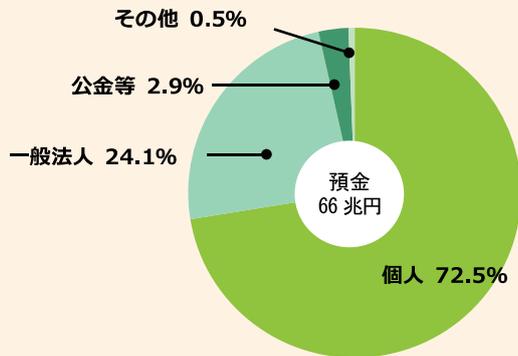
▶ 預金残高の推移



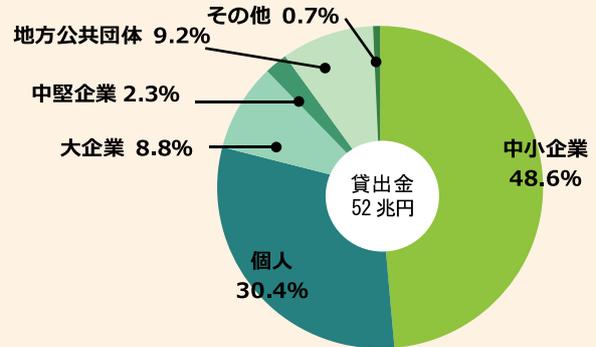
▶ 貸出金残高の推移



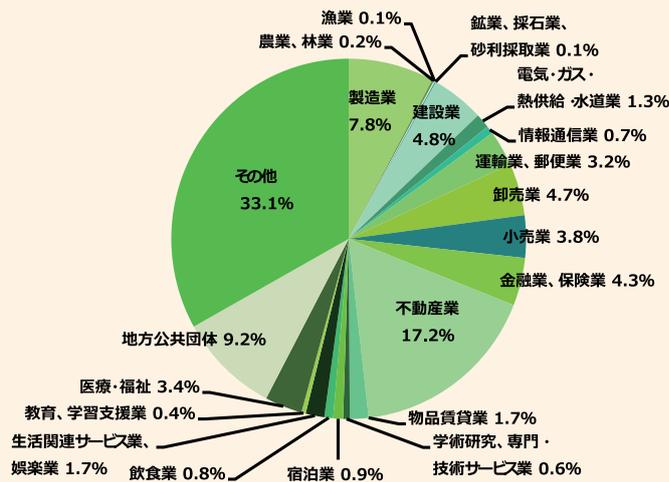
▶ 預金者別預金残高構成



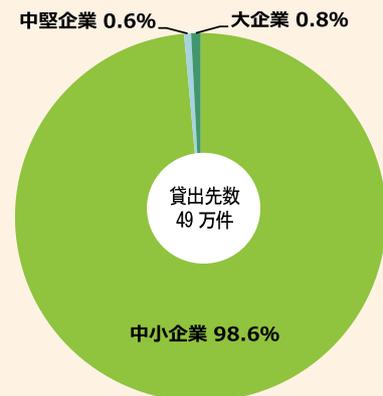
▶ 貸出先別貸出金残高構成



▶ 業種別貸出金の割合



▶ 法人貸出に占める中小企業の割合



(注)百万円以下または常用従業員 100 人以下、法人企業。